

学校だより 「花里の子」

令和8年度 第1号 (令和8年4月10日)

伊丹市立花里小学校長 小木曾 笑子



ご入学、ご進級おめでとうございます!!

笑顔いっぱい
やさしさいっぱい
チャレンジいっぱいの学校

4月8日 (水) 着任式

始業式



今年の桜の開花は早く、始業式、入学式まで咲いていてくれるだろうかと心配しましたが、花散らしの雨にも耐え、何とか入学式まで咲いてくれました。

- は はなし さいご き 話を最後まで聴く子
- な なに 何があってもあきらめない子
- さ さまざまなこと に ちょうせん 挑戦する子
- と とも なか 友だちと仲よくする子

4月8日、元気いっぱいの子どもたちが学校に戻ってきました。一つ大きくなった子どもたち。新しい学年にわくわくしていることが伝わってきました。今年度も始業式の朝は、体育館に集合しました。旧クラスの友だちと会話を楽しみながら、始業式の始まりを待っていました。

始業式に先立って着任式を行い、今年度着任された11名の先生方を紹介しました。先生方のお話を一生懸命に聞いている姿が微笑ましかったです。その後、転入生を紹介しました。今年は、2年生から6年生まで6人の友だちが増えました。全校生を前に、緊張しながら自己紹介してくれました。一人ひとりに歓迎の拍手が贈られました。

始業式では『ときどきしてる』(作:たけがみ たえ 偕成社)を紹介しました。子どもたちの進級にあたってのドキドキ感と重なっていると嬉しいです。そして、「笑顔いっぱい、やさしさいっぱい、チャレンジいっぱいの学校」にするために頑張りたいと伝え、4年生以上の子どもたちと昨年度に考えた「めざす子ども像」についての話をしました。

9日の入学式は、6年生も出席して行われました。80名の新入生を迎え、全校児童448名が揃いました。1年生がしっかりと顔を上げ、一生懸命に話を聴こうとする姿をとってもかわいらしく思いました。その1年生の様子を心配そうに見守る6年生の姿。最高学年として、1年生を支えようとしていることが感じられました。

転入生を温かい拍手で迎える様子や1年生を見守る6年生の様子に本校らしい温かさを感じる新年度の始まりになりました。

4月9日 (木) 入学式

